

T20250731_02_DellOro

AI [バック](#)エンドネットワークで Ethernet が InfiniBand に勝利

Dell'Oro Group が最近発表した AI ワークロード向け AI ネットワーク レポートによると、Ethernet は AI バックエンド ネットワークにおける InfiniBand との戦いに勝利しており、今後 5 年間でデータセンタスイッチの売上高で 800 億ドル近く押し上げる可能性がある。

「2023 年後半に AI バックエンドネットワークのカバレッジを初めて開始したとき、市場は InfiniBand によって支配され、80%以上のシェアを占めていた」と Dell'Oro Group の VP Sameh Boujelbene は話している。「その優位性にもかかわらず、当社は Ethernet が最終的に大規模に普及すると一貫して予測してきた。しかし、注目すべきは、Ethernet が AI バックエンド ネットワークで急速に普及したことだ。業界が 800 Gbps 以上に移行するにつれて、Ethernet は現在、これらの高性能展開において InfiniBand を追い越す確固たる立場にあると考えている。

「Ethernet は AI バックエンド ネットワークで普及しつつあるが、重要な疑問が残る。他のスイッチ ベンダと比較して、NVIDIA が Ethernet の機会をどの程度獲得できるか？ 2024 年には、Celestica、NVIDIA、Huawei が AI バックエンドスイッチ市場の Ethernet セグメントをリードした。しかし、Meta、Microsoft、Oracle、その他の GPU-as-a-Service プロバイダでの大規模な Ethernet 導入が増加し、Accton、Arista、Cisco、Juniper/HPE、Nokia などの追加のスイッチ ベンダが牽引力を得る機会を生み出すため、2025 年には大きなシェアシフトが予想される」と Boujelbene は続けた。

2025 年 7 月の AI ワークロード向け AI ネットワーク先進的調査レポートのその他のハイライト:

- CoreWeave、Lambda Labs、Vultr などの GPU-as-a-Service プロバイダの成長は、今後5年間でTier1クラウドサービスプロバイダの成長を上回ると予測されている。
- AIバックエンドネットワークに導入されるスイッチポートの大部分は、2025年までに800Gbps、2027年までに1600Gbps、2030年までに3200Gbpsになると予想されている。
- AI クラスタでのコパッケージドオプティクスを採用は、NVIDIA を筆頭に、今後数年間で実現し始める見込である。